1. 化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

製品の形態 : 混合物

製品名 : SprayChalk

1.2 推奨用途及び使用上の制限

1.2.1 推奨用途

工業用／業務用 : 工業用；専門業者専用

用途 : 園芸用温室の遮光剤

1.2.2 使用上の制限

追加情報なし。

1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号

製造者	製造者
Lumiforte EMEA B.V. Geerstraat 8 5111 PS Baarle-Nassau オランダ 電話 +31 (0)13 507 53 99 safety@lumiforte.com www.lumiforte.com	Lumiforte EMEA SAS 1 Rue Gaston Monmousseau 38130 Echirolles フランス 電話 +33 (0)4 76 23 20 54 safety@lumiforte.com www.lumiforte.com

1.4 緊急連絡電話番号

機関／サービス	所在地	緊急電話	受付時間／備考
公益財団法人 日本中毒情報センター 大阪中毒 110 番	大阪府箕面市船場西 2-2-1 〒562-0036	+81 72 727 2499 （国内：072-727-2499）	365 日 24 時間、一般向け。日本語対応。他言語対応は未確認。
公益財団法人 日本中毒情報センター つくば中毒 110 番	茨城県つくば市天久保 1-1-1 〒305-0005	+81 29 852 9999 （国内：029-852-9999）	365 日 24 時間、一般向け。日本語対応。他言語対応は未確認。

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7252:2025 による分類：危険有害性区分に該当しない。

通常の産業衛生管理を遵守して使用する場合、特定の物理化学的、健康又は環境有害性は予想されない。

2.2 GHS ラベル要素

絵表示 : 不要

注意喚起語 : 不要

危険有害性情報 : 不要

注意書き : 義務的な GHS 注意書きは割り当てられていない

2.3 GHS 分類に該当しない他の危険有害性

イソチアゾリノン系保存剤（BIT 及び CMIT/MIT）を微量含有する。既に感作されている人ではアレルギー反応を起こす可能性がある。不要な皮膚接触及びスプレー／ミストの吸入を避ける。

湿った漏出物は床を滑りやすくする。乾燥残留物を機械的に除去する際、鉱物粉じんが発生する可能性がある。

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別

混合物。

3.2 成分情報

正確な配合は営業秘密である。危険有害性情報伝達又は職業ばく露管理上関連する成分のみを記載し、原料の商品名は使用しない。

化学名	識別情報	含有量（質量%）	成分の GHS 分類／危険有害性情報
炭酸カルシウム（石灰石）	CAS：1317-65-3 EC：215-279-6	50-75	区分に該当しない
1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン（BIT）	CAS：2634-33-5 EC：220-120-9	<0.1	急性毒性（経口）区分 4；急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）区分 2；皮膚刺激性区分 2；眼に対する重篤な損傷性区分 1；皮膚感作性区分 1A；水生環境有害性 短期／長期 区分 1
5-クロロ-2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン及び 2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの反応生成物（3:1）（CMIT/MIT）	CAS：55965-84-9 個別 CAS：26172-55-4 / 2682-20-4	<0.1	急性毒性（経口）区分 3；急性毒性（経皮／吸入）区分 2；皮膚腐食性区分 1C；眼に対する重篤な損傷性区分 1；皮膚感作性区分 1A；水生環境有害性 短期／長期 区分 1（M=100）
その他の非危険有害成分及び水	専有混合物成分	残量	製品濃度では区分に該当しない

上記含有量は公開用範囲であり、正確な機密配合ではない。製品分類は正確な配合及び製品固有の分析データを用いて計算した。

4. 応急措置

4.1 応急措置の説明

一般的措置 : 意識のない人に口から何も与えない。気分が悪い場合は医師の診察を受け、可能であればラベル又は本 SDS を提示する。

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休ませる。症状が続く場合は医師の助言を求める。

皮膚に付着した場合	:	汚染された衣類を脱ぐ。露出した皮膚を低刺激性石けんと水で洗い、温水ですすぐ。衣類は洗濯してから再使用する。
眼に入った場合	:	直ちに多量の水で十分に洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。痛み又は発赤が続く場合は受診する。
飲み込んだ場合	:	口をすすぐ。無理に吐かせない。気分が悪い場合は中毒情報センター又は医師に連絡する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

通常の使用条件では重大な危険有害性を生じるとは考えられない。保存剤に感作されている人では接触後にアレルギー性皮膚反応が生じる可能性がある。

4.3 医師に対する特別な注意事項

対症療法を行う。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	:	泡、粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧又は砂。周辺火災に適した消火剤を選択する。
使ってはならない消火剤	:	強い棒状注水は使用しない。

5.2 特有の危険有害性

製品は引火性ではない。加熱又は火災により、一酸化炭素及び二酸化炭素を含む刺激性又は有毒な煙が発生することがある。

5.3 消火を行う者の保護

火災にさらされた容器を水噴霧で冷却する。自給式呼吸器及び完全防護衣を含む適切な保護具なしに火災区域へ入らない。汚染された消火水を排水又は環境へ流出させない。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

6.1.1 非緊急対応要員

区域を換気し、不要な人員を退避させる。皮膚及び眼との接触並びにスプレー／ミストの吸入を避ける。

6.1.2 緊急対応要員

適切な保護具なしに対応しない。8 項に記載の個人用保護具を使用する。

6.2 環境に対する注意事項

環境への放出を避ける。排水溝又は公共用水域に流入させない。大量の漏出が下水又は地表水に到達した場合は所轄当局へ連絡する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

粘土、砂又は珪藻土等の不活性物質で吸収し、適切な密閉容器に回収して廃棄する。残留部を水で洗浄するが、無制御の排出を防ぐ。湿った残留物は非常に滑りやすい。

6.4 他の項目の参照

ばく露防止及び保護措置は 8 項、廃棄上の注意は 13 項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

作業場所の換気を十分に行う。不要なばく露及びエアロゾル／ミストの発生を避ける。飲食、喫煙又は作業場所を離れる前に、手及び露出皮膚を低刺激性石けんと水で洗う。本製品の使用中は飲食又は喫煙をしない。

7.2 安全な保管条件

保管条件	:	元の密閉容器に入れ、換気の良い場所で 0-30 ℃ に保管する。凍結、直射日光及び 30 ℃ を超える温度から保護する。
混触危険物質	:	強酸及び強塩基。
避けるべき条件	:	0 ℃ 未満又は 30 ℃ を超える温度；直射日光。

7.3 特定の最終用途

園芸用温室の業務用遮光剤。製品の施工説明書に従う。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度・許容濃度等

混合物としての許容濃度は設定されていない。鉱物粉じん及び該当する成分に関する日本の適用可能な基準を遵守する。製品は高粘度液体であり、主なばく露は施工時のスプレー／ミスト又は乾燥残留物を機械的に除去する際の鉱物粉じんとして起こり得る。

8.2 ばく露防止

8.2.1 設備対策

十分な全体換気を行い、必要に応じて局所排気を使用する。エアロゾルの発生を最小限にする。手洗い及び洗眼設備を設ける。

8.2.2 保護具

眼／顔面の保護	:	飛散のおそれがある場合は化学用ゴーグル又は保護眼鏡を着用する。
手の保護	:	適切な保護手袋を着用する。作業内容及び供給者の推奨に基づき材質及び破過時間を選定する。
皮膚及び身体の保護	:	適切な作業衣を着用する。汚染された衣類は脱ぎ、洗濯してから再使用する。
呼吸用保護具	:	十分な換気がある場合は通常不要。スプレー／ミスト又は乾燥粉じんを管理できない場合は適切な呼吸用保護具を使用する。
熱的危険性	:	意図された用途では特別な熱的危険性は予想されない。

8.2.3 環境ばく露防止

排水、土壌、地表水及び地下水への無制御の放出を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質

項目	値
物理状態	液体
色	ベージュ
臭い	特有
臭いのしきい値	データなし
融点	適用外
凝固点	0 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	不燃性
爆発特性	なし
爆発限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	8-9
動粘度	6875 mm^2/s
粘度	11000 mPa·s；Brookfield RV、スピンドル 5、10 rpm、20 °C
溶解度	水に分散するが、水には溶解しない
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度	1.6 g/cm^3
相対蒸気密度	データなし
粒子特性	適用外（液体）

9.2 その他の情報

安全上関連する追加情報なし。本製品の VOC 含有量は測定していない。

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

通常の使用、保管及び輸送条件では反応性はない。

10.2 化学的安定性

推奨される取扱い及び保管条件で安定である。

10.3 危険有害反応可能性

通常の使用条件では危険な反応は予想されない。

10.4 避けるべき条件

直射日光；凍結；0 °C 未満又は 30 °C を超える温度。

10.5 混触危険物質

強酸及び強塩基。

10.6 危険有害な分解生成物

火災時：煙、一酸化炭素及び二酸化炭素。

11. 有害性情報

11.1 有害性項目

有害性項目	SprayChalk の評価
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入）	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない；pH 8-9
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分に該当しない。イソチアゾリノン系保存剤を微量含み、感作された人は反応する可能性がある。
生殖細胞変異原性	利用可能な情報に基づき区分に該当しない
発がん性	利用可能な情報に基づき区分に該当しない
生殖毒性	利用可能な情報に基づき区分に該当しない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	利用可能な情報に基づき区分に該当しない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	利用可能な情報に基づき区分に該当しない
誤えん有害性	区分に該当しない；動粘度 6875 mm^2/s

原 SDS に記載された成分データ

成分	毒性データ
1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン（BIT）	経口 LD50（ラット）：1193 mg/kg 経皮 LD50（ラット）：4115 mg/kg
CMIT/MIT 反応生成物（3:1）	経口 LD50（ラット）：457 mg/kg 経皮 LD50（ラット）：>1000 mg/kg 経皮 LD50（ウサギ）：660 mg/kg 吸入 LC50（ラット）：1.29 mg/L/4 時間

11.2 その他の有害性情報

内分泌かく乱特性に関する追加情報なし。利用可能なデータに基づき、本製品は記載した健康有害性の分類基準を満たさない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

本混合物は水生環境有害性に分類されない。参考として成分データを示す。

成分	水生毒性データ
1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン（BIT）	魚類 LC50：2.18 mg/L、96 時間（ニジマス） 甲殻類 EC50：2.94 mg/L、48 時間 藻類 ErC50：0.11 mg/L、72 時間
CMIT/MIT 反応生成物（3:1）	魚類 LC50：1.57 mg/L、96 時間；0.19 mg/L、96 時間（ニジマス） 甲殻類 EC50：0.16 及び 0.34 mg/L、48 時間 藻類 EC50：0.027 mg/L、72 時間

12.2 残留性・分解性

SprayChalk について未確立。

12.3 生体蓄積性

SprayChalk について未確立。原 SDS 記載の log Pow：BIT 1.3、CMIT/MIT -0.486。

12.4 土壌中の移動性

製品固有の情報なし。

12.5 PBT 及び vPvB 評価の結果

製品固有の評価なし。提供資料に基づき、関連濃度で PBT 又は vPvB 基準を満たすことが知られている意図的添加成分はない。

12.6 内分泌かく乱特性

追加情報なし。

12.7 その他の有害影響

環境への放出を避ける。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

適用される地方及び国の法令並びに許可を受けた廃棄物処理業者の指示に従い、内容物及び容器を安全に処分する。残留物を排水又は環境へ放出しない。空容器にも残留物がある可能性を考慮する。

14. 輸送上の注意

利用可能な組成及び物理化学的データに基づき、SprayChalk は日本国内の適用輸送規制上の危険物として規制されない。陸上輸送については消防法及び適用される道路・鉄道事業者規則、海上輸送については船舶安全法及び危険物船舶運送及び貯蔵規則、航空輸送については航空法及び航空機による危険物輸送の適用基準を考慮した。本製品は IMDG 又は IATA でも危険物として規制されない。

項目	日本国内陸上輸送	IMDG／日本国内海上	IATA／日本国内航空
14.1 国連番号	該当しない	該当しない	該当しない
14.2 品名（国連輸送名）	該当しない	該当しない	該当しない
14.3 国連分類	該当しない	該当しない	該当しない
14.4 容器等級	該当しない	該当しない	該当しない
14.5 環境有害性	なし	海洋汚染物質でない	なし
14.6 使用者のための特別な予防措置	容器を密閉し、確実に固定する。凍結及び 30 °C を超える温度から保護する。	容器を密閉し、確実に固定する。凍結及び 30 °C を超える温度から保護する。	容器を密閉し、確実に固定する。凍結及び 30 °C を超える温度から保護する。
14.7 IMO 文書に従ったばら積み海上輸送	該当しない	IMO 文書によるばら積み輸送を意図しない	該当しない

15. 適用法令

15.1 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規制

- GHS 分類：JIS Z 7252:2025。ラベル及び SDS：JIS Z 7253:2025。
- 適用法令：労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）、化学物質審査規制法（化審法）、毒物及び劇物取締法、消防法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、船舶安全法及び航空法（該当する場合）。
- 化学物質インベントリー：供給者声明及び製造者保有のインベントリー情報に基づき、SprayChalk のすべての意図的添加成分は ENCS／化審法及び、該当する場合、ISHL に収載されているか、その要件に適合している。ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム（ドクサートナトリウム、CAS 577-11-7）は ENCS 番号 2-1623 として収載されている。
- 国内輸送：消防法、船舶安全法及び危険物船舶運送及び貯蔵規則、航空法及び航空機による危険物輸送の適用基準。
- 現在の混合物評価：JIS Z 7252:2025 による危険有害性区分に該当しない。

15.2 化学物質安全性評価

製品固有の化学物質安全性評価は実施していない。

16. その他の情報

分類方法

正確な機密配合、提供された原料 SDS 並びに基剤中の微量 CIT、MIT 及び BIT について製造者が提供した製品固有の外部分析上限値を用い、計算により分類した。正確な配合及び分析計算は本公開 SDS には記載しない。

成分の危険有害性情報で引用した危険有害性情報の全文

コード	危険有害性情報
H301	飲み込むと有毒。
H302	飲み込むと有害。
H310	皮膚に接触すると生命に危険。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318	重篤な眼の損傷。
H330	吸入すると生命に危険。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

危険有害性区分及びその他の略語

略語	意味
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute / Aquatic Chronic	水生環境有害性の短期（急性）／長期（慢性）危険有害性
ATE	急性毒性推定値
BIT	1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン
CAS / EC	Chemical Abstracts Service 登録番号／欧州共同体番号
CIT / CMIT；MIT；CMIT/MIT	5-クロロ-2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン；2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オン；3:1 反応生成物
CSCL / ENCS / ISHL	化学物質審査規制法／既存化学物質名簿／労働安全衛生法
EC50 / ErC50；LC50 / LD50	半数影響濃度／半数成長速度影響濃度；半数致死濃度／半数致死量
Eye Dam.	眼に対する重篤な損傷性
GHS	化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
IATA / IMDG / IMO	国際航空運送協会／国際海上危険物規程／国際海事機関
JIS	日本産業規格
log Pow	オクタノール／水分配係数の対数値
M-factor	水生環境有害性の高い物質に用いる乗率
PBT / vPvB	残留性・生物蓄積性・毒性／極めて高い残留性・生物蓄積性
PRTR	化学物質排出把握管理促進法の排出移動量届出制度
rpm	毎分回転数
SDS / MSDS	安全データシート／化学物質等安全データシート
Skin Corr. / Skin Irrit. / Skin Sens.	皮膚腐食性／皮膚刺激性／皮膚感作性
STOT	特定標的臓器毒性
UN	国際連合
VOC	揮発性有機化合物

教育上の助言

使用前に、安全な取扱い、漏出対応、個人用保護具及び衛生措置について作業者を教育する。

免責事項

本情報は健康、安全及び環境上の目的で製品を説明するものであり、製品特性を保証するものではない。供給された状態の製品にのみ適用し、他の材料との併用又は別工程では適用できない場合がある。